

～歴史・文化と商都のにぎわいが融合する回遊性の高いまちを、幅広い世代・地区で育む中央地域～

回 覧										

大分中央地域まちづくりビジョン

フォローアップ会議 通信

第4号

発行：令和5年2月1日 大分中央地域まちづくりビジョンフォローアップ会議事務局

地域と行政が一体となり育む中央地域

11月25日 大分中央地域まちづくりビジョンフォローアップ会議を開催

個性を活かした魅力ある地域づくりを推進するため、平成30年に市内13地域において、地域が目指すまちの将来像(ビジョン)やその実現に向けた取り組みをまとめた「地域まちづくりビジョン」。

今年も、ビジョンの実現に向けて市民と行政が一緒にまちづくりを進めるためにフォローアップ会議が開催され、ビジョンに掲げる事業の取組状況を行政と地域が互いに報告し、意見交換を行いました。



大分中央地域の
将来像(ビジョン)

歴史・文化と商都のにぎわいが融合する回遊性の高いまちを、
幅広い世代・地区で育む中央地域

中央地域では、将来像の実現のために以下の「3つの提言・24の提案事業」に取り組んでいます。

提言1「地域全体の回遊性の向上」関連13事業	提言2「コミュニティの深化」関連6事業
1.周遊観光ルートの整備 2.鉄道残存敷の活用 3.歩いて楽しいまちづくり 4.バランスのとれたまちづくり 5.遊歩公園の整備・活用 6.大分城址公園の整備・活用 7.大友氏遺跡歴史公園の整備・活用 8.祝祭の広場の整備・活用 9.荷揚町小学校・中島小学校跡地の利活用 10.公設地方卸売市場の利活用促進 11.観光施設の誘致 12.歴史・史跡を生かした観光の促進 13.歴史・史跡を生かした観光ツアー	1.荷揚町小学校・中島小学校跡地の利活用 ※再掲 2.若者が地域行事に参加できる体制づくり 3.地域の伝統行事の活用 4.史跡サポーターの育成 5.子ども食堂の運営 6.次世代の地域リーダー育成
提言3「安全・安心なまちづくり」関連5事業	
1.防災・防犯意識の向上 2.災害情報の共有システムづくり 3.荷揚町小学校・中島小学校跡地の利活用 ※再掲 4.若い防災リーダーの育成 5.避難しやすいルート整備	

提言1：「地域全体の回遊性の向上」関連事業の取組状況について

「中央」地域として、目指すまちの姿

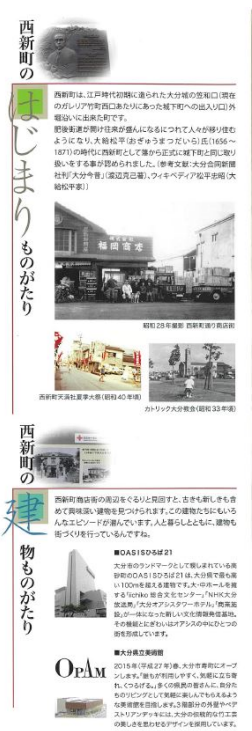
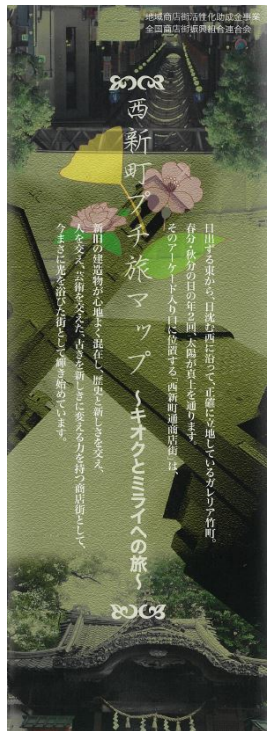
令和6年度に供用開始予定の荷揚町小学校跡地複合公共施設をはじめとしたさまざまな施設。そして大友宗麟や南蛮文化を活かしたにぎわいの促進。中央地域ならではの取組について行政と地域双方から意見が交わされました。

取組の発表（牧委員）

～歴史・文化を活かした観光の促進～

『長浜、若宮、春日、王子、天満』の市中心部5神社神輿関係団体が構成する「豊後神輿文化を繋承する会(略称豊後神輿会)」を組織している。大分市で開催された2019年のラグビーワールドカップのイベントに賛助参加し、日本のみならず海外の方へも地域の伝統行事をアピールできた。コロナ禍においても令和3年大分市七夕まつりで、ホルトホールにて神輿等の展示を行い地域住民へ伝統文化への関心をもってもらうことに成功した。

また、まちおこしとして、中央地域に点在するアピールポイントを紹介するパンフレットを作成した。国道起点終点の記念碑や、バチカンから日本で最初に認定された教会、日本初正式認定を受け建設したアーケード街など、地元でも知られていない事例を掘り起こし、テレビ局の取材を受けるなど、地域の歴史や文化を活かした観光の促進に寄与した。



西新町ブチ旅マップ

行政の主な取組状況の報告

- ◆大分きやんバス…令和4年4月から大友氏館跡、南蛮B V N G O交流館を加えた新ルートで運行しており、利用客数は増加傾向にある。
- ◆大友氏遺跡歴史公園…「史跡大友氏遺跡整備基本計画（第1期）」に基づき、中期整備に着手。昨年に引き続き宗麟公まつりと大友氏遺跡フェスタを同時開催。
- ◆大分城址公園…県工事で帯曲輪に松の移植を行った。令和4年度は、石垣や城壁の演出照明の整備を行う。
- ◆荷揚町小学校跡地複合公共施設…令和4年4月から荷揚中央駐車場の解体工事に着手し、7月から複合公共施設および立体駐車場の工事に着手。民間施設については令和5年6月頃から工事に着手予定で、計画通り安全に十分配慮しながら令和6年4月の開業を目指す。

意見交換での主なご意見

荷揚町小学校跡地複合公共施設

- ★時間帯や利用方法等、使いやすい施設にしてほしい。
- ★コンパルホールやホルトホールと大きな施設が並ぶことになるので、各施設の機能や適した利用方法について周知をしてほしい。

遊歩公園の整備・活用

- ★地元協議や調査の内容を活かし、整備してほしい。
- 歴史・史跡を生かした観光の促進
- ★茶道文化や南蛮文化など、中央地域は様々な視点から魅力のアピールができるのではないかと。
- ★来迎寺について、最近お寺は文化の広場という面から注目を浴びているので、活用していくべきである。

提言2：「コミュニティの深化」関連事業の取組状況について

これからの地域を支える力とは

コミュニティの活性化に関する提言2。地域の方々の取組の発表をしていただく中、特に注目を浴びたのは、「これからの地域を支える若い力」でした。

意見交換での主なご意見

地域の伝統行事の活用

★文化庁の助成金などを活用すれば、非常に活気ある地域の伝統行事を活用したイベントができる。そうした制度の周知や、手続きに関する補助などを行政が窓口として行っていくべきである。

次世代の地域リーダーの育成

- ★地域の役員になろうという人が非常に少ない。市の職員が積極的に地域活動に参加して欲しい。
- ★これからの地域を支えていくのはやはり「若い人」であるので、学生をはじめとした若い人と交流し、地域の発展のために意見を聞く場を設けてほしい。
- ★若い人たちの活動を支援する企業をサポートしていきたい。
- ★今子どもや子育て世代が、忙しく地域活動に対して消極的である。地域住民と交流する機会を持ち顔見知りとなり、腹を割って話せるような間柄になることが必要。

取組の発表（古田委員）

～地域のお祭り文化と、地域コミュニティを連動させた活動～

地域を引っ張ってってくれる次世代の力の育成がこれからの地域活性化に必要不可欠だと思い、青年会活動をしている。社会教育が専門の大学の先生から地域活動について助言をいただく機会があったが、その中でも「青年」の力がこれからの地域には必要だというお話があった。

コロナ禍で数々の行事が中止され、地域活動が後退していることは非常に危機的な状態である。その中でも、感染対策を実施しながら神輿・山車巡行やチキリン太鼓の教室を行ってきた。参加した人は楽しんでおり、その中で子どもとの距離が近づき、やってよかったと感じた。ただ、同時に今の子育て世代の方がお祭りの楽しさを知らず、大変だと思っている方が多くいる事も実感した。お祭りというものは楽しい文化だということをこれからより大きく伝えていきたい、そのために自分たちが楽しんでいる姿を見せたいことが大切だと思った。

取組の発表（津高委員）

～金池子ども・みんなの広場の開催～

子ども食堂「金池子ども・みんなの広場」を開催・運営しており、今年で7年目になる。テレビなどメディアでの紹介も増え、順調にきている。運営している金池校区ボランティアは100名近くの会員があり、子ども食堂以外でもハンドワークや歌声、子育て支援、読み聞かせなどさまざまな部門がある。子ども食堂での食事のあとに各部門の会員が各部の特性を活かし、子どものお世話をしてくれている。会員以外にも地域の方々が子どもに昔の遊びを教えにきてくれたり、学校の生徒が作ったお芋を使って焼き芋パーティを開いたり、お寺が提供してくれる広い境内を活用し、コロナ禍でも安心できる野外活動を行うなど、地域の中で非常にすばらしい協力体制ができている。

今孤独や孤食といった問題が叫ばれているが、子ども食堂が、地域すべての人にとって孤独のない楽しい居心地の良い場所となるように活動している。

また、今食堂に来ている子どもたちが大人になり、子ども食堂の楽しさを自分の子に伝えていくような、世代をつなぐきっかけになることも願っており、子ども食堂の運営のための若い人材の育成も行っている。



舞鶴町青年会 新春御獅子さま巡行



長濱神社夏季大祭

提言3：「安全・安心なまちづくり」関連事業の取組状況について

いつか訪れる可能性のある大災害に備えて

自然災害による被害は、いつ起こるかわかりません。中央地域の特性をふまえながら、これから来るべき大災害にどのように備えることができるのか、非常に関心が高い事象です。



大分市高潮ハザードマップの表紙

意見交換での主なご意見

防災に関して

- ★この中央地域にもかつて地震が起こり、大津波がおしよせたことがある。そうした事実を地域の子どもたちに教育をしてあげてほしい。
- ★大分の中でも中央地域はまだ安全だという認識を持つ人もいるので、防災教育をしていく必要がある。
- ★地域の公園に、災害の危険性を伝えるような表示板を設置することも一つの啓発活動では。

行政の主な取組状況の報告

高潮ハザードマップ・・・令和4年6月に公表し、市の窓口での配布やホームページでの公開を行っている。

大分市シェイクアウト訓練・・・全市一斉訓練として、今年度も令和4年9月1日に実施した。

防災士の養成・・・防災士試験の開催のほか、今年度防災士スキルアップ研修を2回開催した。また、自主防災組織や防災士の活動の活性化、地域防災力の向上を目的に、自主防災組織役員及び防災士等フォローアップ研修会を実施した。

水害監視カメラ・・・令和4年11月1日から、碩田町を含む三カ所に新たに水害監視カメラを設置し、WEB上に公開している。



碩田町住吉川に設置された水害監視カメラ

これから 整理・総括

- 地域・行政が互いにこれまでの取り組みを報告し、将来像の実現に向け現状を認識し、方向性を確認しました。
- それぞれの取り組みについて、現段階で既存の計画や事業があるものについては、これを継続して進めていきます。また、位置づけがないものについても、フォローアップ会議や行政の関係部局において検討を続けていきます。
- 定期的なフォローアップ会議の開催により、地域・行政が意見をキャッチボールしながら、将来像の実現に向けて歩みを進めていきます。

●お問い合わせ

大分市市民部市民協働推進課大分中央公民館
電話：538-0100

※本回覧物は大分市ホームページにも掲載しています。